

大塚建設株式会社



会社の全景

＜主な業務内容＞

- 建築工事業
- 土木工事業

＜鹿児島市環境管理事業所 登録日＞

2011年2月



環境管理責任者の大塚常務取締役

今回お邪魔したのは、鹿児島市荒田にある大塚建設株式会社です。
平成28年度の[鹿児島市環境管理事業所](#)の優良事業所として表彰・事例発表されました。

県内各地の鉄道駅舎改修等や九州電力の発電所関連の特殊工事にも携わっています。どちらも徹底した品質・安全管理を求められ、それに応じた高い品質・技術力に自信を持っています。

また「[かんまちあ](#)」テントの受注にみられるように、質の高い環境提案に努力をしています。

きっかけ

取引先から環境配慮が求められたことが取り組みのきっかけです。
当初は社員全員で取り組める削減目標を設定し、データ把握と改善対策の検討に苦労しましたが、取り組みを継続することで活動が円滑になっています。

事務所には、単月と累計の実績をグラフにして目で見てわかるように掲示されています。

活動前は、環境は遠い存在でしたが、活動を進めるにしたがい、自分たちの活動が地球・地域環境とつながっているという実感が湧き、みんなが行動しはじめ、美しい地球を将来世代に残せる満足感が出てきたそうです。



吉松駅の駅舎改築



「かんまちあ」のテント

環境改善の取組み

1. 電気使用量削減

階段灯に人感センサーをつけ、事務所内でも順次 LED に交換しています。また業務用エアコンを家庭用省エネタイプエアコンに置き換え扇風機を併用しています。

西側の窓は二重サッシにし、緑のカーテン（ニガゴリ）を設置しています。

2. 水使用量削減

トイレに音姫（流し音対策）を設置しています。

3. 車燃料の削減

ダンプ・トラックなどは環境配慮型へ買換え、近場移動には自転車使用を推奨しています。

運転時には混雑を避け、高速道路を ETC 利用しています。

4. 環境講座への積極的参加

環境管理責任者が、様々な環境講座に自ら率先して出席しています。

内容が良い講座には社員にも参加を促しているとのことでした。

『自分の目できちんと確かめることを大事にしています』という言葉から環境管理責任者としての環境経営への熱意が伺えました。

5. 地域貢献

地域景観・観光も視野に入れて、クリーンシティ鹿児島や業界団体と連携し甲突川や道路を清掃しています。

これからの環境活動

新しい目標設定では、義務として環境改善の取り組むのではなく、楽しく経営にも役立てられるよう社内全体で取り組んでいきたいとのことでした。

貴重なお時間に、取材へご協力いただき、本当にありがとうございました。



人感のセンサー設置



自転車での移動を推奨



業務用を家庭用に置き換え